

I-CLOUD、ストレージサービス、T モニタ

～情報機器の私ごとではありますが…～

函館市立北中学校 教諭 本谷 聡

教員になって18年。パソコンを様々な校務で使うようになったのも同じく18年である。フロッピーでの文章管理こそしたことはないが、デジカメ、USB、そしてOSのバージョンアップと情報機器の進化を日々感じてきた。今や情報機器は一部のマニアの世界ではなく、より幅広い世代へと利用層を広げている。しかし、その多くがパソコンを購入しそのままの状態、もしくはアプリケーションソフトをインストールしただけで使っている人が多い。今回私が述べるのはあくまで私個人が使っている情報機器の紹介であり、約20年パソコンを使ってきて便利だと感じた利用方法の紹介である。決してこちらの方が遙かに実用的である…というものでもない。しかし、発想や使い方によっては、ただパソコンを単体で使っているのに比べて遙かに捗った使い方ができるのではないかと思い、提案させていただく。

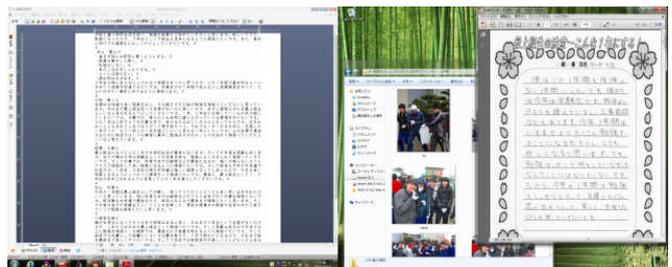


(1) ツインモニタによるパソコン環境

ツインモニタといっても単純にモニタを2台使っているだけである。これなら23インチ程度のモニタを用意すればいいのではないか…と思いがちだが、これが2台にした方が段違いに捗るのである。最近ではノートパソコンもツインモニタに対応しており、モニタをつなぐだけでツインモニタの設定ができるのだが、今回はあえてデスクトップパソコンでのツインモニタ化を提案したい。

最近のデスクトップパソコンはビデオカードが差し込まれたものが多い。安価なビデオカードでも一つはアナログ、もう一つはデジタルでの出力に対応している。デジタルとアナログのモニタを繋ぐと2画面での利用が可能になる。アナログモニタが2台ある場合は、デジタル→アナログの変換端子を使うとよい。

(職員室の机上…アームを使ってモニタの下を空けるとさらに使い勝手が良い)での出力に対応している。デジタルとアナログのモニタを繋ぐと2画面での利用が可能になる。アナログモニタが2台ある場合は、デジタル→アナログの変換端子を使うとよい。特に面倒な設定はないが、同じ大きさ、解像度のモニタを2台用意するとさらによい。最大化したときのウィンドウの大きさが揃うだけなのだが、同じサイズのモニタの方が仕事をしていて気分がよくなるのは私だけじゃないはずである。



(どんなことができるか?)

モニタを2台にしたから、特別なことができるというわけではない。要はウィンドウが2つ最大化で使えるというだけである。しかしこれが以外と使いやすい。例えば図のように、文章を書きながら写真を取り込みたいということは通信を使うときなどは頻繁にあるはずである。その際、通常は文章を書いているソフトを一度最小化して、写真フォルダを開き、写真を選んだ後にそのフォルダを最小化して文章に貼り付けるという作業を行うのだが、ツインモニタの場合は、左の画面から右の画面に写真を移動するだけでよいのである。



文字にすると何ともわかりにくいですが、2つ以上のソフトを同時に立ち上げて作業する人にとってみれば、「どうして今までツインモニタにしなかったのだろう…」という位衝撃的に使いやすいシステムなのです。これはこの後、生徒の作文をpdfにしてそれを文字にする作業などでも格段と捗るのである。

(あまりに便利のため、家のパソコンもツインモニタにした。予算の関係で、一つは使い古しの15インチ)

(2) i-cloud

iphone や ipad が爆発的に普及し、多くの人を買ったはいいが、効果的な利用法が今ひとつ思いつかないではないか…。実は私もその一人である。800 万画素のデジカメがついているため、コンデジを利用する機会がめっきり減ってしまった。しかし、いちいちパソコンに同期したり、ケーブルでつなぐ作業が面倒だった。それを解決してくれたのが i-cloud である。iphone 等で写した写真は、i-cloud のサーバーに送られる。パソコン上で i-cloud の設定をしておく、瞬時にパソコンの決められたフォルダに写真が送られるのである。これを使うと、教室で生徒の様子を写した後、職員室に行くとパソコンに既に写真が入れられているため、非常に便利である。これは ipad でも「フォトストリーム」という方法で可能である。



保存容量は 5 G バイトだが、デジカメの画像を保存するには十分な容量である。(足りなければ買い足すことも可能)

一つ欠点があるとすればインターネット接続か wifi の接続がなければならないということ。3G の契約はまだ高額である。各教室に wifi の設定がなされれば、このフォトストリームを使った効果的な授業なども生み出されるかもしれない。



(3) ストレージサービス

数年前から「ストレージサービス」なるものはあったが、転送が H P の転送のように専用のソフトを使っていたり、FTP だったり今ひとつ利用しやすい環境ではなかったが、最近では使い勝手もかわってきている。まずストレージサービスというのはファイルの保存を HDD や U S B などユーザーが個人で管理するのではなく、外部のサーバーに保存をするというものである。一長一短があるが、今回は私がよく使っている 2 つのサービスを紹介したい。

(A) スカイドライブ

・マイクロソフトが提供するオンラインストレージ。写真や動画だけではなく、通常の office ファイルなども保存、そして共有することができる。

(どんな特徴があるの?)

- ① 無料なのに容量が 25 G と群を抜いている。
- ② フォルダごとに共有の設定ができ、アドレスを知っている人と無料でファイルを共有することができる。(大容量のファイルの共有には欠かせない)
- ③ SDEplorer という優秀なアプリケーションがあり、ストレージをパソコンの HDD のような感覚で使うことができる。また、SDEplorer の有料版を使うと、ダブルクリックでファイルを (制作したソフトに関連づけて) 起動することができたり、アプリケーションから直接フォルダに書き込むことができる。(無料版はフォルダからのコピーしかできない) 年間約 2000 円をどう考えるかは使い方次第。
- ④ ipod などのスマートフォンにも対応している。
- ⑤ 利用開始から Dropbox 内で生じた全てのやりとりを時系列で掲示することができます。

(B) Dropbox (ドロップボックス)

・私はスマートフォンを使って初めて知ったストレージサービスだが、スカイドライブにはない便利さがあり手放せないでいる。



(どんな特徴があるの?)

- ① 無料版で容量が 5 G バイトだが、紹介で 250 M B の追加容量サービスがある。<http://db.tt/XeohQLHF> など、簡単なアドレスで登録できるため、twitter などにも載せやすく、すぐに追加サービスがたまってくれる…。
- ② パソコン内のフォルダと自動同期ができる。実はこれが魅力的である。保存を全てパソコン内のマイドキュメントにしている人や、U S B にだけ保存をしている人は、面倒な作業をしなくてもファイルを保存する度に自動でバックアップを取ってくれることになる。職場で作った文章などを家で作り直したりすることが可能である。私はこれを次に述べるスキャナと連携をして使っている。

※どちらも魅力的だが、まだ完成版には後一步の感がある。その一つは転送速度の遅さで

ある。これは函館市内の学校がケーブルテレビのインターネットを使っている（5M）せいもあるのだと思うが、この転送速度がUSB並になれば十分有効な保存先になると思われる。また、今回はセキュリティの問題はあえて述べていない。先日マイクロソフトが某大学の学生向けに発行したアカウントを全て削除してしまい、修復が不可能であるという事故を起こしている。大手だから、有料だから絶対に安全…というものではない。勿論パソコン内に保存してもUSBに保存しても「絶対」はない。電子ファイルを使う以上、バックアップは複数とっておくことが重要である。

（４）詰め替えインクプリンター



・数年前も詰め替えインクを使って毎日学級通信をカラーで出しているというレポートを出したことがある。その後も数年間注射器によるインクの注入は続け、通信、廊下の写真、文集など、カラーでの表現力の恩恵を受けている。しかし、最近のプリンターは

- ①インクタンクが極端に小さくなり、詰め替え頻度が高くなった。
- ②カラーインクを検知する機能が強まり、その設定を切るとインク

ク残量を検知できなくなるばかりか、保証が全く効かなくなる。インクがなくなった状態でプリンターを使い続けるとインクヘッドが焼け切れてしまい、保証や修理がメーカーに依頼しないとできない。さらに悪いことに、インクヘッドを単品で購入できないようにメーカーが手を回し…という最悪の問題が出てきた。これにより、私は3台のプリンタを処分することになる。

しかし、そんなリフィル派にまさに神のようなプリンターが出た。それがブラザーの mymio シリーズである。これに某詰め替えインク会社（私は ink77 を使ってみた）の特大インクカートリッジ（右図）を取り付けるのである。このインクカートリッジにはリフィルインクが 60cc 入っている。canon のプリンターなどは 10cc 程度しか入っていないので、何と6倍ものインクが入っている。単純に考えて、今までのインクの詰め替え作業が 1/6 になるのである。



・実は、私は昨年からの mymio シリーズに使っている。canon の色合いと印刷速度になれた私にとって取ってみれば、あまり満足のいくプリンターではなかった。しかも両面印刷はできない、CD ラベル印刷もできないのでは、インクの詰め替え作業が少なくなっても日常の業務に支障がでる。だが、詰め替えの作業によって手が汚れたり、酷いときにはYシャツに染料インクが飛んでしまい、数枚のYシャツをダメにした私にとって取ってみれば夢のようなプリンターであった。それが 2011 年 9 月に発売された MyMio DCP-J925N は以下の点が改良され、より完璧に近い状態になっている。

（インク検知ボタンが内部にあるため、解除するための工夫がなされている。また、そのインクタンクの大きさから、インクタンクのふたは閉まらない。これが少し間抜けな姿だが、便利さと引き替えに我慢するしかない…。）

（特徴）

- ①インク速度がカラーで 10 枚/分と従来機の 3 倍の速さになる。
- ② CD ラベル印刷・両面印刷に対応
- ③用紙はトレイからだけしか給紙できず、しかも枚数が 100 枚しか入らないが、同じトレイに写真用紙も 20 枚入れることができ、切り替えて使うことができる。
- ④自動原稿送り装置 (ADF) に対応している。
- ⑤値段が 2012 年 4 月現在で 10000 円程度と大変安い。
（ink77 で大型カートリッジ付きだと 17800 円）
- ⑥無線 LAN や有線 LAN にも対応している。
- ⑦そして、勿論大型のインクタンクには、60cc ものインクが充填されている。

これにより、リフィル（インク詰め替え）作業に追われなければなり、インクの補充口も大きくなり、補充しなくてはならない時でも容易に作業ができるようになった。ちなみに、昨年度、カラーで1万枚程度印刷をしているが、インクの補充を行ったのは5回程度だと記憶している。

さらに、このプリンタについている自動原稿送り装置(ADF)と、先ほどのストレージサービス dropbox を組み合わせて次のようなことをしてみた。

- ① 付属のソフトを使って、自動原稿送り装置(ADF)の保存先を dropbox と自動同期されるフォルダに指定する。
- ② 生徒作文や提案物など、pdf 化したい文章をスキャンする
(ADF に文章を乗せるとコピーの画面になるので、停止を押し、パソコン内に保存を選択しスキャンする)

すると、pdf になった文章がパソコンの指定されたフォルダに保存され、dropbox によって勝手に同期される。これにより、特に特殊な動作をすることなく、iphone や ipad でも文章を閲覧することができる。勿論、家のパソコンでも pdf 化された文章の閲覧はできるので、ツインモニタで閲覧しながら仕事をするのが可能である。